



遠藤 智 議員

放射線量基準値を1ミリシーベルトへ

山田町長／最終的に年間1ミリシーベルトを目指す

遠藤 町民は放射線被ばくに大変な不安を感じていますので、町独自の規制値を年間1ミリシーベルトにするために、学校施設の除染を初め町内全域を除染すべきではないですか。

町長 町内全域の被ばく線量を当面半減させる努力をし、最終的には年間1ミリシーベルト以下を目指す取り組みを進めます。また、文教施設の除染については、現在進めています。

小中学校町内開設はいつ

山田町長／平成24年度2学期の再開を目指す

遠藤 小学校はいわき市の既設校舎を借りて開校していただきますが、平成24年4月の町内開設に向けた除染を、早急に行うべきではないですか。

町長 小中学校の町内開設については、精力的に除染を行い平成24年度2学期からの再開を目指します。

除染は住民の理解と協力を

山田町長／各種団体や町民の協力を得ながら実施する

遠藤 町内の除染には住民の理解と協力が不可欠です。で、民間ボランティアを含めての除染体制を構築すべきではないでしょうか。

町長 除染実施計画に基づき、各種団体や町民の協力を頂き除染を実施いたします。

復旧・復興に向けての住民説明会を開催せよ

山田町長／10月下旬を目標に開催する

遠藤 町民は誰もが帰還を望んでいます。町の復興計画さらには除染計画には十分に住民の意向を反映させなければなりませんので、そのための住民説明会を開催すべきではないですか。

町長 町の復旧・復興には町民の協力が不可欠ですので、帰還時期を含め、10月下旬を目標に住民説明会を開催いたします。

屋根瓦の補修に助成を

山田町長／現制度での活用を検討する

遠藤 東日本大震災により破損した瓦屋根の補修に対し、被害を受けた町民の生活設計の立て直しの一助として、補助金制度を設けるべきではないですか。

町長 屋根瓦補修に対する補助については、個人住宅改良事業補助金制度の活用を検討いたします。

復興計画と第四次町勢振興計画の整合性は

山田町長／両計画との整合性をはかる

遠藤 復興計画は県ビジョンと整合し、第四次町勢振興計画のもう一つの新たな柱と位置づけられるものと考えますが、町長はどのように考えていますか。

町長 復興計画は平成23年12月末を目途に策定を進めています。策定に当たっては、「第四次町勢振興計画」との整合をはかることを基本とし、東日本大震災、原子力事故からの早期復興を目指します。